

## 第 36 回大阪府作業療法学会「福祉用具、こんなんでしょうか！-グランプリ」

### 演題募集期間延長のお知らせ

今年度も大阪府作業療法学会で「福祉用具、こんなんでしょうか！-グランプリ」を開催予定しています。府会員の皆様が日常診療で患者（利用者）様に提供しているちょっとした**福祉用具**の製作の方法・適合の工夫のアイデアを共有できればと思います。

演題募集期間を 2022 年 9 月 10 日（土）まで延長しています。

下記の URL から登録ページを閲覧できますので、是非ご登録をよろしく願いいたします。

<https://osaka-ot-36.jp/info/ideagp>

[↓↓ 応募要項・エントリー用紙](#)

# 第 36 回大阪府作業療法学会

## 「福祉用具、こんなんでしょうか！-グランプリ」

### 募集要項

#### 主旨

- 自助具・ADL 支援用具・治療器具など OT 活動で自作したもの等の**福祉用具**の製作の方法・工夫のアイデアを共有する。

#### \*福祉用具とは

「心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障がある老人または心身障害者の**日常生活上の便宜**を図るための用具及びこれらの者の**機能訓練のための用具**ら並びに補装具」と定義されている。

- 生活行為の改善に役立つ身近な用具の利用法や動作方法の工夫等の**生活環境支援**のアイデアを共有する。

#### \*生活環境支援とは

生活環境支援とは、「対象者の生活行為向上を図ることを目的に作業療法士が**動作・方法の工夫の支援、用具の支援（福祉用具）、住環境の支援等の活動環境**に働きかける技術」と位置付けている。

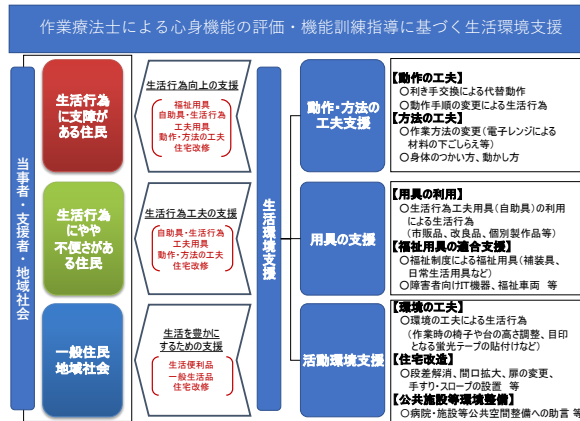


図 1

更衣・ジャンパー着衣の工夫 (脳血管障害 片麻痺)		厚手のジャンパーが着れなくて困っていた左片麻痺の方に、ビニール袋を用いた事例 (市販品)	
<p>左片麻痺の方が厚手のジャンパーが着れなくて困っていたので、ビニール袋を患側の腕にはめて摩擦を減らすことで袖が通りやすくなり、一人で着られるようになった。</p> <p>【利用者・家族の声】 着れないと思っていましたが、着る事が出来て嬉しい。</p>		<p>胸を入られる筒形のビニール袋。 ①ビニール袋を胸に通す。 ②ビニール袋を付けた厚手のジャンパーの袖を通す。 ③着替えが終わったら袖口からビニール袋を抜き取る。</p>	
心身機能・病状の特徴	左片麻痺、感覚障害、関節可動域制限、痙攣、疼痛	活動・参加の制限の特徴	ジャンパーを一人で着られない。
工夫したポイント	服と服の間にビニールを挿入することで摩擦を減らせた。 また市販の介助補助手袋(筒形のビニール袋)用いることで胸にはめやすく抜きやすい。	利用上の留意点 (注意点、予知/小等)	抜き取る際引っ張りすぎると破れてしまう。
使用した製品名 (材料名)	介助補助手袋(ディスボザブルタイプ)	使用した製品名	ネット通販等 4,000円前後 (50枚入)
備考	筒形になっている介助補助手袋を選択したが他のビニール袋でも代用は可能。		

図 2

## 演題募集期間

応募期間：2022年6月1日（水）～2022年9月10日（土）17時

締め切り前はアクセスが集中し、時間内に演題登録・修正が完了できないことがあるため、余裕を持って登録を済ませて下さい。

## 応募資格

大阪府作業療法士会の会員で、2022年度の会費を納入している者（応募締切の1週間前まで）。  
OT以外の職種は共同演者になることができます。

## 演題登録にあたっての諸注意

発表形式は、ポスター発表となります。

応募は、1人当たりの制限はなく複数の応募は可能です。

## 応募方法

「申込用紙」の項目に沿って抄録を作成してください。

文字数の規定はありませんが、規定の「申込用紙」に収まる範囲でお願いいたします。

対象者が生活行為を行なっている（用具を使用している）場面の写真を添付してください。

本文中に、対象者の同意を得た旨を、また、所属施設に倫理審査委員会がある場合には審査を受けた旨を記載してください。

「申込用紙」は、下記の登録項目を Google フォームで入力後の確認メールに添付させていただきます。

応募先は、下記の大阪府作業療法士会 福祉用具委員会 mail address に送信してください。

## 発表者必須登録項目

発表者に関する以下の項目を入力してください。

- ・ 発表演者の氏名
- ・ 発表演者の氏名（フリガナ）
- ・ 発表演者の日本作業療法士協会会員番号
- ・ 所属機関名 1（所属機関番号 1）
- ・ 所属機関名 1（フリガナ）
- ・ 発表演者の職種
- ・ 発表演者の E-mail

## 演題採択結果の通知

募集締め切り後、8月末をめどに、学会側より登録いただいた E-mail にて通知します。

## 発表形式

ポスター発表(指定時間にポスター前で待機し、自由討論形式)で行います。

「申込用紙」の項目に準じ、ポスター形式（図2）のスライドを作成してください。

ポスター形式の詳細は演題採択後に再度ご連絡させていただきます。

ポスターの掲示以外に可能であれば、対象者が実際に生活行為を行なっている（用具を使用している）場面の動画の提示と作成した用具の展示をお願いいたします。

### グランプリ選定方法

参加者の投票にて優秀賞を選定します。

グランプリは閉会式で発表します。

### 【注意事項】


- 1)E-mail アドレスを誤って入力すると演題登録確認メールを受け取ることができません。ユーザー登録完了通知が届かない場合には、迷惑メールフォルダに誤って振り分けられていないかを確認して下さい。
- 2)厳重なセキュリティが設定されている施設のネットワーク環境では登録システムへのログインができない場合があります。その場合には外部のネットワークから登録をお願いします。
- 3)応募者の PC 環境および通信事情によるトラブルが原因で演題登録に不備をきたしても、学会事務局では一切責任を負いません。応募者の公平を期すため特別な配慮は致しませんのでご承知おき下さい。

福祉用具グランプリに関する問い合わせ・応募は下記のメールアドレスまでお願いいたします。

大阪府作業療法士会 福祉用具委員会 Mail: fukusiyougu\_osaka\_ot@yahoo.co.jp



\* 申込用紙記入例

<b>題目</b>	
ベッドアップに伴う枕のズレの修正が困難な方にフックを使用することで枕がズレなくなるように工夫した一例	
<b>事例概要</b>	
ALS の進行に伴う上肢近位筋優位の筋力低下により、ベッドアップに伴う枕のズレを修正することが困難になった。そのため、日中独居の際に離床することが億劫になっていた。アルミ素材のバーを加工したフックを使用することでベッドアップに伴う枕のズレを防ぐことができた。	
<b>倫理的配慮</b>	
発表にあたり、患者の個人情報とプライバシーの保護に配慮し、本人から書面にて同意を得た。	
<b>疾患</b>	ALS(上肢優位型)
<b>心身機能・構造の特徴</b>	上肢近位筋優位の筋力低下（MMT：肩関節挙上・外転 1/1、肘屈曲 2/2）。手指は MMT2、100g 以下程度の物であれば把持可能。
<b>活動・参加の制限の特徴</b>	上肢筋力低下のため、ベッドアップをした際の枕の位置を修正できない。それに伴い、離床頻度が減少。
<b>作成した用具（行なった支援）のポイント（用具の作成方法の説明を含む）</b>	市販のアルミフラットバーをマットレスのサイズに合わせて切断・加工。先端をフック様に折り曲げる。マットレスに設置し、枕カバーにもフック用のソケットをつけることで、ベッドアップに伴う枕の位置のズレを防ぐことができる。
<b>利用上の留意点（注意点、デメリット等）</b>	アルミバーのため、枕の重量によって強度が不十分な可能性がある。 先端が金属であるため、取り替え時などに皮膚に擦傷などが生じるリスクがあるため、先端に保護シールを貼る必要がある。
<b>用具の外観・活動場面の写真</b>	
<b>患者（利用者）・家族の声</b>	<p><b>介入前</b> 日中独居の際に、自由に離床したいが、ベッドアップした後に枕の位置を戻せなくて、ベッドから離れることができない。</p> <p><b>介入後</b> 枕の位置がずれないので、ベッドアップを気楽に使うことができる。</p>